

令和4年度

## 学校自己評価表(報告)

学校運営計画			
学校運営方針	生徒一人ひとりの進路希望達成のため、職員の英知を結集し、学校としての組織力を高め、教育活動（学習指導、進路指導、生徒指導等）の充実を図り、地域協働推進校（アソシエイト）として、地域・保護者から信頼される学校づくりを行う。		
昨年度の成果と課題	令和4年度の重点目標	具体的目標	
生徒に対して、適時適切な進路指導で学習意欲の向上を促しつつ、日々の授業の他、補習等の充実を図り、学力向上に努めた。東北大学、東京外国語大学、金沢大学等の国公立大学合格者が25名となった。また、就職希望者は、公務員等を含め全員が内定を得るなど成果をあげた。 今後は、新学習指導要領を視野に入れた教科指導やICTを活用した個別最適化学習の指導体制の整備に努める。また、糸魚川市と連携したSDGsをテーマとする探究活動「糸魚川学（I Quest.）」を展開し、7つの力（想像力、知性、独創性、対話、洞察力、誠実、自立心）を鍛え、教科横断的な学びを推進する。生徒・保護者・地域から信頼され、選ばれる組織的運営の学校とする。	生徒一人ひとりの進路希望達成のため徹底した学習指導・学力向上対策を行う。  夢を育て、目的意識を高める進路指導・キャリア教育を充実させ、望ましい職業観・勤労観を育成するとともに、社会に有為な人材の育成を図る。  基本的生活習慣を確立し、体力・気力・知力を充実させ、豊かな人間性の育成を図り、「勤儉力行」の精神を涵養する。  個に応じた指導により学習指導の充実を図るとともに、グローバルな視野を身に付け、自分の考えや意見を発信できる態度・能力を育成する。  信頼される学校づくりのため、地域・保護者との連携を深め、学校の教育活動の積極的な発信を行う。	学年や分掌が目標を設定し、組織力を生かし、学校をあげて課題解決にあたるとともにAL（主体的・対話的で深い学び）、ICT教育などによる積極的な授業改善を行なう。  勤労観、職業観を育てる通じて目的意識の醸成を図る。  地元貢献の志を養い、自身の進路選択にも結びつく探究活動を推進する。  学校行事や部活動を通して豊かな人間性と社会性を育む。  いじめ防止基本方針に基づき、学校組織として取り組む。  学習内容に対する興味関心を育み、分かることをもとに、グローバルな視野を身に付け、自分の考えや意見を発信できる態度・能力を育成する。  教育活動の理解・支援と改善に資するよう、ICTを活用し積極的に情報の公開と発信に努める。	
具体的目標	具体的方策	評価	
生徒一人ひとりの進路希望達成のため徹底した学習指導・学力向上対策を行う。	確かな学力を養成する適切な教材選択 豊富な教材研究による授業の充実 小テスト・週末課題等の有効活用 実習・実験の効果的実施 学習習慣の確立に向けた学習指導 ICTを活用した個別最適な学習指導 模擬試験等の有効活用 他教科間の授業相互参観	A	B
	進路説明会・進路講演会・職業講話の充実 高校3年間を通じたキャリア教育計画を策定 進学・就職等の情報の充実 面接指導・小論文指導の充実	A	
	基本的生活習慣の確立 社会規範意識の醸成（法律や校則の遵守） 体力・持久力の向上 いじめを見逃さない学校づくり 生徒会・委員会活動の活性化 部活動の活性化 自己有用感と自己肯定感の向上	A	
	分掌・学年・教科等での情報の共有 研修会等への積極的参加 学校活動を通しての生徒理解 考え方や意見を発表させる機会の充実 学校施設の整備	B	
	保護者や地域、中学校との交流 学年通信等の発行 保護者への進路情報提供の充実 授業・学校行事の公開 ICTを活用した情報公開、発信の充実	A	
	「総合的な探究の時間」を活用した探究活動、課題解決学習の取組については、地域から高い評価を継続して得ることができた。また、教育活動の理解・支援と改善に資するよう、メール配信やClassi等のICTを活用した連絡や情報発信の充実に努め、保護者から評価を得た。	総合評価 B	
成果			